



## 平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月8日

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所 JQ  
コード番号 4317 URL <http://www.ray.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 分部 至郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中村 準三 (TEL) 03(5410)3861  
四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	3,772	6.8	192	—	159	—	78	—
22年2月期第2四半期	3,533	△17.6	△45	—	△65	—	△57	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年2月期第2四半期	6	20	—	—
22年2月期第2四半期	△4	42	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	4,716	1,786	37.2	137 91
22年2月期	4,791	1,730	35.6	133 82

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 1,756百万円 22年2月期 1,704百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0 00	—	2 00	2 00
23年2月期	—	0 00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	2 00	2 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,750	4.2	300	44.9	250	70.1	130	4.8	10 21

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 — 社（ ））、除外 — 社（ ）

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年2月期2Q	14,328,976株	22年2月期	14,328,976株
23年2月期2Q	1,591,727株	22年2月期	1,591,687株
23年2月期2Q	12,737,275株	22年2月期2Q	13,049,289株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第2四半期連結累計期間】	6
【第2四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 制作、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、猛暑の影響や政府の景気回復策等の効果により消費が増加する等の要因もあり、企業業績等に改善が見られたものの、雇用環境等は依然として厳しい状況が続いており、猛暑・政策効果のはく落、海外景気の減速と円高進行への懸念等から今後の景気の先行き不透明感は強まっております。

当社グループの主要な市場である広告業界は、景気動向の影響を早々に受けやすく、業界動向においても景気の先行き不透明感が強まる中、予断を許さない状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループは当連結会計年度を飛躍のための足固めの一年目として位置付け、行動計画を確実に実行することにより、営業力強化による受注拡大、コスト管理の徹底による事業の採算性向上、業務の効率化を高めることによる生産性の向上等、従前より取り組んでいる諸施策の更なる徹底を図っております。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,772百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は192百万円（前年同期は営業損失45百万円）、経常利益は159百万円（前年同期は経常損失65百万円）、四半期純利益は78百万円（前年同期は四半期純損失57百万円）となりました。

当社グループの事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

広告ソリューション事業におきましては、SP・イベント部門は、大型施設案件の受注もあり、売上が堅調に推移し、利益面とともに前年同期比で改善いたしておりますが、TVCM部門は、厳しい事業環境の中、苦戦が続いており、業績は低調なまま推移いたしております。

この結果、広告ソリューション事業は売上高1,673百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益79百万円（同24.4%減）となりました。

テクニカルソリューション事業におきましては、映像機器レンタル部門、ポストプロダクション部門ともに売上が堅調に推移し、特にポストプロダクション部門においては、デジタル化に備え実施した設備投資関連のリース契約期間が前連結会計年度に満了したことでリース料の費用負担が減少した等により、利益面において前年同期比で大幅な増加となりました。

この結果、テクニカルソリューション事業は、売上高2,099百万円（同11.8%増）、営業利益310百万円（同285.2%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、3,737百万円となりました。これは主に、たな卸資産が185百万円、現金及び預金が47百万円増加したものの、売掛金が235百万円、繰延税金資産が17百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、978百万円となりました。これは主に、出資金が45百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、4,716百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%減少し、2,844百万円となりました。これは主に、前受金等その他流動負債が81百万円増加したものの、買掛金が153百万円、未払金が25百万円、預り金が23百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.0%減少し、85百万円となりました。これは、リース債務が4百万円、長期借入金が4百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.3%減少し、2,929百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、1,786百万円となりました。これは主に、配当により25百万円減少したものの、四半期純利益の計上78百万円により利益剰余金が53百万円増加したことによるものであります。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて47百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は、1,483百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、136百万円(前年同期比53.9%減)となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額が185百万円、仕入債務の減少額が153百万円ありましたが、売上債権の減少額が242百万円あったこと、及び税金等調整前四半期純利益156百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は36百万円(同42.2%増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出38百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は52百万円(同69.4%減)となりました。

これは主に、配当金の支払額24百万円、リース債務の返済による支出19百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、第2四半期までの業績は期初計画を上回るペースで推移しておりますが、当社グループの主要な市場である広告業界は、景気動向の影響を早々に受けやすく、景気の先行き不透明感が強まっていることから、現時点においては、据え置くことといたしました。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産の減価償却については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

#### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,483,382	1,435,416
受取手形	82,139	85,929
売掛金	1,682,177	1,917,847
たな卸資産	358,817	173,665
繰延税金資産	13,413	30,470
前払費用	89,432	78,406
その他	39,017	47,079
貸倒引当金	△10,636	△12,025
流動資産合計	3,737,743	3,756,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	296,091	294,926
減価償却累計額	△157,000	△150,557
建物及び構築物(純額)	139,091	144,369
機械装置及び運搬具	738,454	729,328
減価償却累計額	△545,243	△518,316
機械装置及び運搬具(純額)	193,211	211,011
工具、器具及び備品	239,974	201,375
減価償却累計額	△176,623	△165,547
工具、器具及び備品(純額)	63,350	35,827
土地	332	332
リース資産	145,980	128,656
減価償却累計額	△30,399	△13,057
リース資産(純額)	115,581	115,598
有形固定資産合計	511,566	507,138
無形固定資産		
ソフトウェア	22,136	19,168
その他	7,858	7,865
無形固定資産合計	29,994	27,033
投資その他の資産		
投資有価証券	51,586	60,698
出資金	22,079	67,457
長期貸付金	5,038	5,048
破産更生債権等	79,474	84,631
長期前払費用	44,860	46,107
敷金及び保証金	189,226	189,226
繰延税金資産	128,257	136,045
その他	900	900
貸倒引当金	△84,512	△89,680
投資その他の資産合計	436,911	500,437
固定資産合計	978,473	1,034,610
資産合計	4,716,216	4,791,400

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	586,112	739,862
短期借入金	1,600,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	12,506	16,664
リース債務	37,573	34,360
未払法人税等	23,518	12,088
賞与引当金	134,976	137,275
未払金	110,149	136,093
未払消費税等	28,634	46,835
未払費用	80,968	72,179
預り金	68,082	91,655
その他	161,865	80,595
流動負債合計	2,844,388	2,967,610
固定負債		
長期借入金	—	4,174
リース債務	85,198	89,494
固定負債合計	85,198	93,668
負債合計	2,929,586	3,061,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	472,806	472,806
利益剰余金	1,089,194	1,035,718
自己株式	△273,676	△273,671
株主資本合計	1,759,468	1,705,995
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,832	△1,530
評価・換算差額等合計	△2,832	△1,530
新株予約権	29,993	25,655
純資産合計	1,786,629	1,730,120
負債純資産合計	4,716,216	4,791,400

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	3,533,789	3,772,984
売上原価	2,544,916	2,574,165
売上総利益	988,872	1,198,818
販売費及び一般管理費	1,034,091	1,006,759
営業利益又は営業損失(△)	△45,218	192,059
営業外収益		
受取利息	30	93
受取配当金	1,508	1,504
未払配当金除斥益	710	—
その他	909	1,080
営業外収益合計	3,158	2,678
営業外費用		
支払利息	13,709	13,690
持分法による投資損失	4,660	—
出資金運用損	—	15,913
その他	4,625	5,773
営業外費用合計	22,994	35,377
経常利益又は経常損失(△)	△65,055	159,360
特別利益		
貸倒引当金戻入額	652	4,065
特別利益合計	652	4,065
特別損失		
有形固定資産除却損	1,695	1,442
投資有価証券売却損	—	743
出資金評価損	—	5,100
特別損失合計	1,695	7,285
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△66,098	156,140
法人税、住民税及び事業税	6,052	52,302
法人税等調整額	△14,496	24,886
法人税等合計	△8,444	77,189
少数株主利益	17	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△57,671	78,951

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	1,789,730	1,915,262
売上原価	1,283,167	1,331,628
売上総利益	506,562	583,634
販売費及び一般管理費	500,294	509,803
営業利益	6,268	73,830
営業外収益		
受取利息	30	93
受取配当金	119	128
未払配当金除斥益	710	—
その他	827	791
営業外収益合計	1,688	1,013
営業外費用		
支払利息	6,505	6,782
出資金運用損	—	3,946
その他	1,334	1,200
営業外費用合計	7,840	11,929
経常利益	115	62,914
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	863
特別利益合計	—	863
特別損失		
有形固定資産除却損	1,149	736
投資有価証券売却損	—	743
出資金評価損	—	5,100
特別損失合計	1,149	6,579
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,033	57,198
法人税、住民税及び事業税	5,534	44,882
法人税等調整額	7,461	△14,126
法人税等合計	12,996	30,756
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,030	26,441

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△66,098	156,140
減価償却費	58,786	74,165
長期前払費用償却額	1,253	1,247
株式報酬費用	5,331	4,337
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,271	△6,555
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,526	△2,298
受取利息及び受取配当金	△1,538	△1,598
未払配当金除斥益	△710	—
支払利息	13,709	13,690
出資金運用損益(△は益)	—	15,913
持分法による投資損益(△は益)	4,660	—
有形固定資産除却損	1,695	1,442
投資有価証券売却損益(△は益)	—	743
出資金評価損	—	5,100
売上債権の増減額(△は増加)	599,258	242,127
たな卸資産の増減額(△は増加)	86,134	△185,152
仕入債務の増減額(△は減少)	△310,360	△153,749
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,716	△21,769
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△44,734	16,524
その他	3,947	5,600
小計	327,797	165,909
利息及び配当金の受取額	1,538	1,598
利息の支払額	△12,656	△13,831
法人税等の支払額	△19,820	△41,116
法人税等の還付額	—	24,312
営業活動によるキャッシュ・フロー	296,859	136,872
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,069	△38,884
ソフトウェアの取得による支出	—	△6,165
出資金の払込による支出	△23,310	△8,657
出資金の回収による収入	17,187	15,935
その他	△2,423	1,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,615	△36,431
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	3,200,000	3,500,000
短期借入金の返済による支出	△3,300,000	△3,500,000
リース債務の返済による支出	—	△19,300
長期借入金の返済による支出	△8,332	△8,332
自己株式の取得による支出	—	△4
配当金の支払額	△63,426	△24,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171,758	△52,474
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	99,485	47,966
現金及び現金同等物の期首残高	1,189,435	1,435,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,288,921	1,483,382

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	886,979	902,750	1,789,730	—	1,789,730
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	66,604	66,704	(66,704)	—
計	887,079	969,355	1,856,435	(66,704)	1,789,730
営業利益	111,346	7,909	119,255	(112,987)	6,268

(注) 1 事業区分の方法

事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	900,113	1,015,148	1,915,262	—	1,915,262
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,134	70,487	73,621	(73,621)	—
計	903,248	1,085,636	1,988,884	(73,621)	1,915,262
営業利益	53,131	122,081	175,212	(101,381)	73,830

(注) 1 事業区分の方法

事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,655,779	1,878,009	3,533,789	—	3,533,789
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	250	129,830	130,080	(130,080)	—
計	1,656,029	2,007,839	3,663,869	(130,080)	3,533,789
営業利益又は営業損失(△)	105,582	80,730	186,312	(231,531)	△45,218

- (注) 1 事業区分の方法  
事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。
- 2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,673,301	2,099,682	3,772,984	—	3,772,984
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,639	125,205	128,844	(128,844)	—
計	1,676,940	2,224,888	3,901,828	(128,844)	3,772,984
営業利益	79,820	310,966	390,786	(198,727)	192,059

- (注) 1 事業区分の方法  
事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。
- 2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)  
本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)  
本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

前第2四半期連結会計期間（自平成21年6月1日至平成21年8月31日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成21年3月1日至平成21年8月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結会計期間（自平成22年6月1日至平成22年8月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年3月1日至平成22年8月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

**(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 制作、受注及び販売の状況

###### ① 制作実績

当第2四半期連結累計期間における制作実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	1,115,664	11.9
テクニカルソリューション事業	1,644,455	6.2
合計	2,760,120	8.5

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、総製造費用によっております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	1,683,510	△0.8	937,966	6.2
テクニカルソリューション事業	2,335,110	26.8	611,629	72.9
合計	4,018,621	13.5	1,549,596	25.3

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	1,673,301	1.1
テクニカルソリューション事業	2,099,682	11.8
合計	3,772,984	6.8

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社博報堂プロダクツ	445,192	12.6	462,825	12.3
株式会社電通テック	408,513	11.5	192,448	5.1

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。